

平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	9.教育費	事業名	5.指導方法改善費						
項	1.教育総務費	細事業名	3.日本語適応指導事業						
目	3.教育研究指導費	担当課・係	指導課 (執行課: _____)						

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位:千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	2,723	要 求									2,723
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	英知を伝え、心豊かに明日を育むまちづくり/すべての市民の人権を尊重するまちづくり/帰国子女や外国人児童生								
	【日本語適応指導に関する業務】	施策体系コード	03-01-03-40-20			事業番号	11-1				
	帰国子女や外国人児童生徒の指導方法充実のため、学校に月4回程度、外国語の話せる日本語適応指導員を配置する。	総事業費	13,615千円			事業期間	平成18年度～平成22年度				
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度				
			2,723	2,723	2,723	2,723	2,723				
		(事業実施に関する根拠法令)									

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 帰国子女や外国人児童生徒の適応指導充実のため、学校に月4回程度、外国語の話せる日本語適応指導員を派遣する。	(事業の目的) 帰国子女や外国人児童生徒の適応指導のため。	(事業の効果) 帰国子女や外国人児童生徒が学校生活に適應するまで、指導員により個別に指導することで、早い段階で学校生活になれ、通常の学習に取り組むことができるようになってきている。
(事業実施上の問題点) 毎年、多くの外国人子女が転入してくる状況があり、アジア諸国だけでなく南米等の国からの転入もあり、言語の堪能な指導員の派遣が難しい。	(前年度からの見直し点) 毎年70名程度の外国籍児童生徒があり、約半数程度が、適応指導を必要としている現状がある。	(見積についての特記事項)